



まにわ

議場 執行部側



議場 議員側



1月
26日開催

臨時会

臨時会とは、定例会以外に必要な場合、特定の事件に限って審議するため招集される議会です。

地域通貨活用 物価高騰対策事業

3月末日までに「まにこいん」を登録した全ユーザーに1エアカウントにつき5,000まにこいんポイントを給付します。また、決済額の10%還元キャンペーンを実施。利用者には、利用額の10%をまにこいんポイントで還元、事業者には、売上の10%を還元します。どちらも月額還元は、最高10万ポイント。期間は5月末日ですが、予算がなくなり次第終了となります。(予算に達したので4月5日に終了しました)

集会所等整備 補助金

自治会等に所属する施設や、市から譲与を受けたコミュニティハウス等のLED照明器具の交換費用を上限10万円（補助率1/2）で補助金を支給しますが、令和8年度末までの事業ですが、予算がなくなり次第終了となります。

3

令和8年3月第2回真庭市議会

3月定例会

会期2月20日~3月24日

3月議会の会議録は6月上旬、
ホームページ及び議会事務局で閲覧できます。

【主な内容】

今回の一般質問は19人

- 令和8年度当初予算12件を可決
- 令和7年度3月補正予算11件を可決
- その他議案22件を可決
- 議員定数検討特別委員会の設置に関する発議1件を可決

令和8年度当初予算合計

予算は千円単位ですが、見やすくするため
万円表記にしています。(千円を四捨五入)

550億6,553万円

を可決しました

令和7年度3月補正予算

予算特集は4ページに掲載。

15億9,558万円の減額

令和7年度補正予算会計別集計表 単位:万円

会計名	3月補正額	3月補正後 予算額
一般会計	△90,987	3,525,480
国民健康保険特別会計	△12,194	480,262
後期高齢者医療特別会計	2,366	93,441
介護保険特別会計	△17,697	643,197
介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定)	△27	7,227
浄化槽事業特別会計	△12	3,500
津黒高原観光事業特別会計	△4	2,710
クリエイト菅谷事業特別会計	0	1,029
温泉事業特別会計	40	12,694
特別会計合計	△27,529	1,244,060
水道事業会計	△13,298	216,866
下水道事業会計	△26,009	363,246
国民健康保険湯原温泉病院 事業会計	△1,736	156,951
公営企業会計合計	△41,043	737,062
合計	△159,558	5,506,602

※表はいずれも千円を四捨五入しているため、合計に差異が生じている箇所があります

**大雪に対応し土木費を増額
3億1,158万4千円**

一般会計 主な歳出(3月補正)

総務費では、定額減税補足給付金事業の減等により3億1,358万1千円を減額。民生費では、生活保護費の減等により3億441万6千円を減額。衛生費では、塵芥処理経常管理費の減等により2億8,516万5千円を減額。農林水産業費では、林道整備事業(林道川上1号線)の減等により1億7,374万2千円を減額。土木費では、除雪経常管理費の増等により3億1,158万4千円を増額。教育費では、スポーツ施設改修等事業の減等により1億3,165万1千円を減額しています。諸支出金では、減債基金積立金及び財政調整基金積立金の増等により9,863万2千円を増額しています。



除雪後の道路 蒜山富山根

工事請負契約の締結

工事請負契約の締結

消防本部（本署）救助訓練塔新築工事を一般競争入札で実施しました。契約金額

は5億1,370万円で契約の相手方は、梶岡建設株式会社・鳥越工業株式会社特定建設工事共同企業体です。



救助訓練塔(完成イメージ)

主な議案内容

指定管理者の指定

真庭市赫山なごみの温泉津黒高原荘、津黒高原キャンプ場、津黒温泉プール、中和多目的グラウンド、中和多目的グラウンドテニスコートの5施設の指定管理者が決定しました。指定管理者は、株式会社アストピア赫山で指定の期間

は、令和8年4月1日から令和11年3月31日までの3年間です。

委員の任命・推薦

教育委員会委員の任命

真庭市教育委員会委員1名の任期が令和8年5月20日をもって満了することに伴い、大盛陽子氏が新たな委員として任命されることに同意しました。



大盛陽子氏

人権擁護委員の推薦

人権擁護委員1名の任期満了に伴い、法務大臣に対して、大美禎申氏を推薦することに同意しました。



大美禎申氏

請願

選択的夫婦別姓制度の法制化を進める意見書の提出を求める請願 **【不採択】**

国に対し、選択的夫婦別姓制度の法制化を進める意見書の提出を求めるもの。採決の結果不採択となりました。

【討論あり】 発言順

反対討論 田島吉章

選択的夫婦別姓は家族制度の根幹に関わる重大な課題であり、旧姓使用の拡大・法制化等の代替手段の検証や子どもへの影響、社会的コストの検討が不十分である現段階で、市議会として拙速に導入を求める意見表明は適当でないと考え、本請願に反対を表明する。

賛成討論 奥 侑樹

選択的夫婦別姓制度は、女性に偏る改姓の負担やアイデンティティ喪失を解消し、若年女性の流出を防ぐ喫緊の人口減対策でもある。夫婦同姓は明治期に創られた伝統であり、別姓の選択肢が他者の日常を奪うことはない。多様性を尊ぶ真庭市の姿勢を示すべく、本請願に賛成する。

反対討論 吉原啓介

この問題、本当に困っている、または苦しんでいるひとたちのためを考えるのであれば、単に意見書を出して自分たちの責任は果たしたような顔をするのではなく、根本的な解決策、時代の流れにあった制度作りはどうあるべきか、市議会として議論し、働きかけていくべきではないのか。

賛成討論 緒形 尚

本制度は選択肢を広げるものであり、現行制度を否定するものではない。多様な意見がある課題だからこそ、感情的な対立ではなく、地方議会として国において冷静で丁寧な議論を進めることが必要だと考える。その観点から賛成する。

賛成した議員 50音順

- 伊賀基之 緒形尚 奥 侑樹
- 加藤大悟 黒川 愛 柴田正志
- 庄司史郎 苦田智子 村上善彦
- 反対した議員** 50音順
- 伊藤義則 小椋一郎 小田康文
- 妹島弘和 妹尾智之 田島吉章
- 谷本彰良 西田文子 葉廣峰久
- 福島一則 森脇正和 吉原啓介

予

令和8年度

算

3月16日、17日、議長を除く全議員で予算審査特別委員会を開催し、当初予算と補正予算の概要について各部長、課長等から説明がありました。委員から多くの質問があった後、すべて原案どおり可決しました。



一般会計当初予算 348億4,700万円 前年比 3.5%増

令和8年度の一般会計の当初予算額は、348億4,700万円で、前年度比、11億7,000万円、3.5%の増となっています。

主な要因は、物価高騰に伴う経済対策のほか、久

世第二こども園（仮称）整備事業の本格化や、畜産バイオマス発電施設整備事業などの大型事業の開始に伴い事業費が増加したことによるものです。（金額は千円を四捨五入）

一般会計予算 主要事業 抜粋

（金額は千円を四捨五入）

1 真庭の未来を支える「しごと」を生む・つなぐ、伝える

- 地域資源活用推進事業 6,235万円
- 未来価値創造事業 5,170万円
- 畜産バイオマス発電施設整備事業 1億368万円

2 地域内外のつながりと人の流れを生み、多彩な暮らしを実現する

- 協働のまちづくり推進事業 5,395万円
- サテライトキャンパス推進事業 1,265万円
- キャッシュレス・市民ポイント推進事業 8,248万円

3 こどもと若者の活力があふれ、世代を超えた支え合いと学び合いを育む

- 学校力向上事業 4,209万円
- 地域スポーツ・文化推進事業 2,236万円
- こども園等施設整備費 12億1,476万円
- こどもの放課後居場所確保事業 1,907万円
- 小学校施設整備事業 2億8,495万円

4 安全安心とまちの魅力が調和する、誰もがずっと住みたくなるまちをつくる

- 公共交通対策事業 1億9,222万円
- 空家活用推進事業 6,569万円
- 消防分署庁舎整備事業 4,987万円

5 物価高騰対策支援事業

- 小中学校の給食費支援 1,587万円
- 水道基本料金の減免支援 1億100万円
- 福祉・医療・介護・保育施設等物価高騰支援 4,331万円

令和8年度当初予算会計別集計表 単位:万円

会計名	令和8年度 予算額
一般会計	3,484,700
国民健康保険特別会計	476,824
後期高齢者医療特別会計	111,028
介護保険特別会計	639,244
介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定)	7,392
浄化槽事業特別会計	3,358
津黒高原観光事業特別会計	1,793
クリエイト菅谷事業特別会計	673
温泉事業特別会計	11,693
特別会計合計	1,252,004
水道事業会計	234,843
下水道事業会計	369,337
国民健康保険湯原温泉病院 事業会計	165,669
公営企業会計合計	769,849
合計	5,506,553



運行を開始した「イコーデ」

総務常任委員会

委員長 妹島 弘和 委員 黒川 愛
副委員長 田島 吉章 委員 柴田 正志
委員 緒形 尚 委員 葉廣 峰久
委員 小椋 一郎 委員 森脇 正和

本委員会は、12月9日、2月4日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《消防本部》

■美新分署庁舎の整備事業について
消防本部総務課から、美新分署庁舎の整備事業について説明がありました。

現在の美新分署庁舎は、建物および設備の老朽化が著しいこと、土砂災害



現在の美新分署庁舎 美甘

特別警戒区域内にあることから、新庄村との協議を経て、建て替えが不可欠と判断しました。

現在地から西へ約100mの地点を候補地として整備する計画です。

問 事業のスケジュールと運用開始の予定は。

答 令和8年度は用地取得に向けて地権者等に同意を求めています。

9年度に基本実施設計、10年度に建設工事、11年度に運用開始の予定。

《総務部》

■公共施設等総合管理計画の改定(案)について

財産活用課から、第3次総合計画を踏まえて見直しを行っている公共施設等総合管理計画について説明がありました。

国の指針により、以前は公共施設等の数量に関する目標の記載が必須でしたが、現在は緩和されています。このため、平成29年に策定した計画は延床面積を40年間で40%以上縮減するという目標を設定していましたが、地域に根ざした施設が多く、一方的な

廃止は困難である現状を踏まえ、今回の改定では公共施設全体の数値目標を設定しないことにしています。今後10年間の取り組みについては、実施計画として個別施設計画を策定し、具体的に検討していきます。

問 基本的に公共施設の集約は痛みを伴う改革である。推計値では財源不足となっているが、どのような考えで数値目標を設定しないという判断をしたのか。

答 個別施設計画を策定し、それを積み上げて目標設定をしていく



本庁舎の玄関ロビー(窓口案内)

うと考えている。より現実的で実行可能な目標を設定し、取り組んでいく。

《総合政策部》

■業務受付時間の設定について

総合政策課から、業務受付時間の設定について説明がありました。

市民サービスの質の向上を目的として、来庁者の相談や手続きに十分な対応時間を確保するため、業務受付時間を9時から16時までとする案を検討しています。あくまで運用面での受付時間を明確化し、可能な限りの協力を呼びかけるもので、従来通り柔軟に対応していくことには変わりはありません。

また、「来庁しなくてもできる」「待たずにできる」仕組みづくりとして、コンビニ交付の利用促進やオンライン手続きの推進を一層強化していきます。

問 職員の働き方改革のために終了時間を16時30分とする自治体が増えているが、16時を検討している理由は。

答 複雑な業務は1時間程度かかると。16時であれば、職員が責任を持って勤務時間内に終わらせることができ、来庁された方が手続きを完了して帰ることができると考えている。

問 1週間に1回は時間延長する日を設けるなど、補完的な部分を検討できないか。

答 いただいた意見を参考にしながら、議論を重ねていく。

文教厚生常任委員会

- 委員長 伊藤 義則 委員 妹尾 智之
- 副委員長 伊賀 基之 委員 谷本 彰良
- 委員 奥 侑樹 委員 苦田 智子
- 委員 加藤 大悟

本委員会は12月10日、2月6日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《健康福祉部》

■岡山大学との協働事業について

高齢者支援課より、岡山大学と連携して実施した介護予防事業について説明がありました。

真庭市では要支援・要介護認定者の約73%が女性であり、この状況を踏まえて、より効果的な介護予防の「真庭モデル」確立を目指し、令和4年度から6年度にかけてプログラムの実施とモニタリングを行いました。事業では、65歳以上の女性を対象に、岡山大学病院監修の「貯筋運動」に3か月間取り組むとともに、女性ホルモンの一種で骨や筋肉を強くする働きが期待できる「エストロゲン」を含むジェル塗布や、社会参加の機会としてカット野菜作業を行い、健康観察や運動機能検査を実施しました。

その結果、身体機能の改善が長期的に維持されただけでなく、健康意識にも変化が見られました。高齢者の健康



真庭いきいき健康プロジェクト 川上

が地域経済や子どもたちの未来へと循環する仕組みも生まれています。また、事業で使用した運動はDVD化され、集いの場の運動メニューとして活用されています。

問 この体操は高齢者にはかなり厳しいので、ソフトな内容の体操を作る予定はあるか。

答 真庭市では各種様態に合わせた体操プログラムを作っており、状況に応じて運用している。

《湯原温泉病院》

■令和7年度の経営状況について

湯原温泉病院から「令和7年度の経営状況」について説明がありました。

入院患者数は前年に比べて約5%の増、外来患者については約3%の増となっています。8月からは地域包括医療棟の稼働も安定して、収益も10%弱伸びています。

病院全体で各職種の取り組み成果が出ているような状況でしたが、9月末で医師が1名退職したため、収益の増加幅が減っています。

ほかにも、今年度は、療養病棟の病床を12床削減したことに伴い、岡山県の病床数適正化支援事業給付金が約5,000万円入ってきています。

昨年を引き続き、厳しい状況は続いています。年度末の見込みとしては昨年度2億円の赤字から、目標とする1億円の赤字に近づけるよう経営改善を行い、病院全体で取り組んでいます。



経営改善に取り組む湯原温泉病院

問

訪問介護の人数が減っている理由はなにか

答

遠方のご家族との同居や、施設入所される方も増えている。今後の需要を考えて、いったん職員を減らし、今後ニーズが増えてくれば柔軟に対応するよう考えている。

産業建設常任委員会

- 委員長 庄司 史郎 委員 福島 一則
 副委員長 西田 文字 委員 村上 善彦
 委員 小田 康文 委員 吉原 啓介
 委員 長尾 修

本委員会は、12月11日、2月5日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《産業観光部》

■真庭版農業支援サービス事業体の進捗状況

農業振興課から、真庭版農業支援サービス事業体の進捗状況について、説明がありました。

事業体準備室では、市内を中心に関係機関等にヒアリングを実施するなど設立に向けて準備を進めています。

設立当初は、「中山間地域等直接支払交付金等の事務受託」「農に関する相談窓口業務」「地域商社（販路開拓・商品開発支援）」を実施予定。事業採算は当初2年間の利益でその後赤字を補い、上記以外の事業も開発しながら黒字化を目指します。

出資比率は市が51%、資本金は4,000万円で、市内外の出資者や、農に関わる関係機関と連携し運営します。

■畜産バイオマス及び酪農等集中対策

農業振興課から、畜産バイオマス及



牛糞をバイオガス原料として使用

び酪農等集中対策について、説明がありました。

畜産バイオマス発電施設は、来年度からの国の交付金等を活用して整備に着手します。初期投資は市が負担しますが、設備の運営や修繕費用は市が負担しない方針で、中国四国酪農大学校と覚書を締結し、責任関係を明確にした上で事業を進めます。

また、国庫補助や過疎債の活用により、市の実質負担は一定程度に抑えられる見込みとしています。

《建設部》

■真庭市空き家等対策計画

まちづくり推進課から真庭市空き家等対策計画について、説明がありました。

この計画は令和3年3月、計画期間5年間で策定され、最終年度に当たる今年度で本計画を改定するものです。

令和5年に空き家等対策の推進に関する特別措置法が改正され、予防的措置の導入や、多様な主体による支援体制の構築、所有者責任の明確化など、活用、管理、除却についてより総合的に推進する内容となっております。

真庭市の現状としても、使用目的のない空き家が増加しており、空き家関連の補助金の申請や問い合わせも増加しています。

今回の改定案では、空き家を増やさないための予防促進、適正管理、利活用の促進を重



真庭市空き家等対策計画

点的に進めていくとしています。改定した計画は、空き家に関する各種国庫補助金の要件になっており、この4月から公表予定で、計画期間は10年となっています。

問 計画は、本来特定空き家など危険を及ぼすものの防除、排除が主眼ではないか。人口減少の中で空き家の増加は不可避であり、現実との乖離をどう考えるか。

答 空き家対策は、予防抑制、適正管理、利活用の三つ。利活用にも限界がある。予防抑制や適正管理に力を入れていく。

問 仲立ちする事業者への対応が必要ではないか。事業者の状況が計画にないがどう考えるか。

答 そのような視点が施策として書けていない面はある。今後、計画の見直しを行う中で検討していきたい。

一般質問

3月定例会の議事録は
6月上旬から閲覧できます
二次元バーコードをスマホ等で読み取ると、
一般質問が視聴できます。
一般質問の記事は、代表質問は12000字
以内、個人質問は800字以内で質問した議員
本人がまとめています。

会派代表質問



基本的認識と姿勢

① こどもまんなかを基本理念とし、こどもの権利条約の制定を目指すところがあるが、制定の理由、具体的な内容とスケジュールを伺う。

② 旧久世高校跡地の周辺道路は、調査した交通量の結果も踏まえ、隣接国道の渋滞緩和等、円滑な通行の実現に向けて早期完成を目指すところがあるが、久世第二こども園(仮称)の整備が進む中どのように進めていくのか伺う。

答 太田市長

① こどもの権利条約の制定に当たっては、子どもをまちづくりの中心に位置づけて、子ども一人一人の権利を尊重しながら安心して育ち、挑戦できる環境を整えるとともに、子どもと大人が共に学び、交わり、未来の真庭市の持続的発展につながるよう条例の議論を進めていく。令和8年度は土壌づくり機運醸成を行い令和9年度に条例制定を目指す。

② 本年度においては市道高校東線及び市道高瀬中島線の道路詳細設計を実施している。旧久世高校牛舎跡地からいずみ橋の西詰め交差点までの区間については令和8年度から拡張工事に着手する予定で11年度の完了を目指して整備を進める。市道と国道313号が交わる交差点については、令和8年度から岡山

問

持続可能な公共交通の確保

県が改良工事を実施する予定。久世第二こども園(仮称)開園予定の令和9年4月1日までは交差点整備を完成する見込みとなっている。

答 太田市長

美甘、湯原地域の交通空白解消も重要な問題であり、これまでの知見も生かしながら地域の実情に応じた手法を検討していくところがあるが、それら地域住民の課題意識は重要かつ急務であると考えられているか。

本年度策定中の地域公共交通マスタープランでもその地域を課題として位置づけている。チョイソコ、イコデー、二川・津田・中和の地域ではコミュニティバス、それぞれ地



久世、落合、勝山地域で運行されているチョイソコまにわ

域の特性に合わせた交通を導入している。交通空白解消を私たちもやっていこうという主体的な地域の動きがないとできない。より柔軟なデマンドとか地域の方々と話し合い、その地域に合った交通

手段の確保に頑張っていく。真庭市全体、公共交通を確保していくことに頑張りたいが、課題は負担である。今の1億4千万円以上をどうするか課題もあるが、空白地域の解消には、特に頑張る。

答 弁 者



三ツ宗宏教育長



太田昇市長



真和会
妹島 弘和

問 **子どもの権利条例制定の意義と効果**

第3期総合戦略では、ごどもまんなかをすべての施策の基本的な考えに据え、ごどもの権利条例の制定を目指す」と表明された。

このごどもの権利条例を新たに制定しなければならぬ理由は何か。制定により、どのような効果が期待できるのか市長に伺う。

答 **太田市長**

子ども一人一人はかけがえない存在である。将来の担い手であり、幸せに生きる、そういう主体だという認識である。

それを前提に、やりたいことができるまち、応援があれば、面白いことができる環境の中で自己肯定感だとか挑戦する意欲を生む。

真庭で育つて良かったなという記憶となってUターン、Iターンの人も出てくる。そういう意味では将来の人口

減少に対応する位置づけも持っている。

こういう理念の明確化と共有を行ない、その中心的なよりどころがごどもの権利条例である。作る過程で多くの方々に参加していただき、さらにこの考え方を方法にしていく。その意味では私は条例制定は一つの市民運動だという捉え方をしている。

問

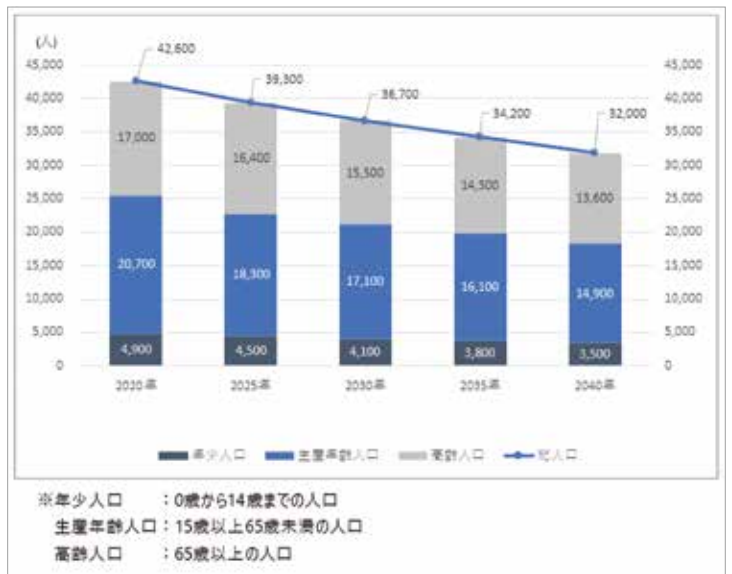
若年女性への対応は

少子化の要因として若年女性の定住率の低さがある。地域の魅力ある生活環境の創出や雇用の受皿づくりについては、どのように進めているか。

答 **太田市長**

女性が働きやすい就労環境とは何かという調査を行ってみると、若年女性と企業の双方がデジタルスキルを活用した働き方のニーズがあることも把握している。

今までそういうスキルを身に付けても、あまり使うところがない。でも、よく掘り下げていけば、既存産業の経営



真庭市の将来人口目標値 第3次真庭市総合計画より

が、市民生活に多大な影響を与えたコロナ禍を経て、また少子高齢化等の影響もあり、住民の交流の場が減少している。

改善にもそういうスキルを用いることによって経営改善を図ることができる。

そういう結果を受け、令和8年度は若い女性を含めた市内で働こうとする方々のスキルアップやライフスタイルに即した働き方の推進を支援するための予算を計上している。

問

地域運営の在り方は

共生社会実現の重要な要素は、市民同士の交流である

答 **太田市長**

人口×活動量の最大化による地域の活力維持と地域コミュニティの再生をテーマに、市内の多様な人との連携協働による地域課題の解決に向けた取り組みを進めていく。

また、人口減少を見据えた自助、互助、共助、公助のバランスの取れた地域運営を目指していく。



翠山会
吉原 啓介

問 **公共施設の運営の在り方**

令和6年度策定の第3次総合計画を踏まえ、現在見直しを行つて真庭市公共施設等総合管理計画。財源不足解消を目標とするのであれば、そもそも特別会計まで組んで、それがために毎年多額の赤字決算であることが明確になっている施設等、それらが市民の生活に本当に必要なものかという検討はどうなっているのか。

運営が指定管理となつているものも多い。この制度の主な目的は民間のノウハウを活用して住民サービスの向上と費用対効果の向上を図ることだが、真庭市においてこれらの目的は本当に満足されているのか。

公共施設に関しては、その運営についても在り方を検討すべき時期に来ている。むしろ遅いぐらいなのではないかと思うが、今後の見直し、見直しも含め考えを伺う。



公共施設は今、その在り方の根本的な見直しが必要

そもそも現在の公共施設マネジメントの原則的な考え方自体、何か曖昧で煮え切らないような印象は拭えない。言い換えれば、関係者、それから地元の顔色をうかがって当たり障りのないところで結局は延命措置にすぎないことをやっていきますよというふうにししか思えないところもある。

地域の意見、要望を無視しようというわけではない。

八方美人にならず、小出しで追加投資をするのではなく、思い切った機能整理・統合・組み替え・更新、これらの大胆な実行を通じて長期のトータルコスト削減を考えようということ。

そういう点でも、一番大事なのは適切な機能を適切なエリア単位で効率的にまとめしていく、施設再編と組み替えたと思いがどうか。

例えば、選定のタイミング、これもちよつと問題ではないか。そもそも選定の時期の件、4月からの指定管理者の選定を3月議会に諮ること自体、おかしくないか。

議会が承認することを前提としたスケジュールとか、また、今回の議会で承認されないという話

の進め方、これはいかがなものかと思っている。

委託先の選定基準とか選定方法、時期の見直し等の検討の必要性があるのではないかと思いが、どうか。

答 太田市長

特別会計を設けている施設、多額の公費負担をしている施設について、収支の状況、利用状況、将来の需要予測、そういうものも、ひとつひとつ出すように今、点検をしている。

人口減少の中で、必要なものについてはきっちり整備して将来も活用していく。有利な財源を導入することも考えながら行っていきたいと考えている。

将来に向かって、住民の方々との信頼関係を大事にしながら、整理するものを整理していくということを進めていく。

指定管理の時期については指摘のとおりで、今までそういう意味で形式的になっていくというように改めるし、指定管理そのものもどうするのかということも変えていく。

予告 真庭市議会講演会開催

議会活性化の一環として2年に1度行われる議会講演会の開催が決定しました。講師には平川理恵氏をお招きし、11月28日(土)の午後、勝山文化センターにて行います。詳細は決定次第お知らせします。



講師 平川理恵氏

- 株式会社アカデミア・ネクサス 代表取締役社長
- 前広島県教育長
- 東京インターナショナルスクール 理事

講師略歴

同志社大学卒業後、1991年(株)リクルートに入社。2010年全国で女性初の公立中学校民間人校長として横浜市立市ヶ尾中学校に着任。2015年横浜市立中川西中学校校長。2018年より広島県教育委員会教育長に就任。

議会を傍聴に行こう

真庭市議会の本会議・常任委員会を間近で傍聴してみませんか。傍聴を希望される方は、議会開催中に市役所4階にお越しください。議場の入り口で、住所、氏名をご記入いただければ、簡単に傍聴席へお入りいただけます。傍聴席は30席あります。また、大型モニターを設置し、字幕表示もしています。

傍聴席は市民席



傍聴席に設置した字幕付モニター

個人質問

妹尾 智之



安心して搾乳ができる環境づくりを

多くの公共施設や商業施設に授乳室が設置されているが、授乳室で搾乳ができるという理解は十分に広がっていない。搾乳は、母乳の保存や乳房張の緩和、入院中の子への授乳など、医学的・育児上必要な行為である。

しかし、赤ちゃんを伴わない利用に対し、心ない言葉を受ける事例もあり、理解不足が課題となっている。特に職場復帰後の女性にとっては、定期的な搾乳が健康管理上不可欠であるにもかかわらず、適切な環境が整っていないケースも見られる。出産後も安心して社会参加を継続するためには、搾乳への正しい理解の促進と環境整備が重要である。

①本市における授乳室設置施設数と、そのうち搾乳可



本庁舎1階の授乳室

能である旨を明示している施設数はそれぞれいくつか。

②搾乳マークの掲示については利用者の安心につながる取り組みと考えるが、特に利用者の多い落合総合センター、久世エスパスター、勝山文化センターでの掲示に対する市の見解はどうか。

③搾乳マークの掲示に加え、市民への理解や授乳室利用案内への明記、市役所内における搾乳環境の整備など、安心して搾乳できる環境づくりにより市として積極的に取り組む考えか、市長の所見を伺う。

答 太田市長

①市内の公共施設は19施

設あり、授乳室または授乳スペースを確保している施設は12施設である。搾乳可能の掲示をしているのは1施設のみ、8施設では速やかに掲示が可能な状況である。

②搾乳マークは知られておらず、まずは漢字で分かる表示を用い、できる限り多くの方に理解してもらえようように施設に掲示していく。

③ホームページやこどもはぐくみアプリ等を通じて理解を深める。母体保護を含め、行政として十分認識していく。

小椋 一郎



エアコンの設置費用補助金の延長を

真庭市では令和6年度、7年度は重点支援地方交付金があり、省エネ機器導入の支援があった。

しかしながら、令和7年度は予算が終了したことに伴い受付は終了している。

昨年の夏は真庭市でも気温が40度を超える日もあり、



エアコンの設置費用に補助を

うが、令和8年度補正予算、令和9年度当初予算にはエアコンも含めるよう検討すべきと思う。また、今年の夏を乗り切るためにもエアコンの設置補助金を継続してもらえよう、県や国に強く訴えるべきと思うが市長の所見を伺う。

答 太田市長

国の物価高騰対策に基づいて令和4年度から3回にわたり336件の支援を実施した。

まにこいんによる10%還元キャンペーンは、月ごとに10万ポイントが上限だが、この制度を使えば10%引き

熱中症対策としてエアコンの設置に補助金を出すのは人道的にも必要と考える。

ゼロカーボンシティまにわ促進補助金の対象にもエアコンは含まれていない。

財源の課題はあるかと思

になる。

岡山県では、エアコン購入支援として予算が可決しており、夏以降に受付申請すると聞いています。時期的に重ならないので、併用はできないが両方とも周知していく。

黒川 愛



物価高対策支援 配慮を

まにこいん全ユーザーへ5,000ポイント給付。3割の方に支援が届いてない。ぜひとも配慮をいただきたい。時間がかかっても、6月、7月になっても申請手続を取るべきでは。

答 太田市長

なるべく誰一人取り残さないということを、頭に置いて取り組んでいく。

問

地域公共交通人材支援を

広い真庭市、様々な地域交通が進んでいるが、美甘と湯原が空白地域。理由をどう分析されているか。立地的なこともあり、高齢化率も高い。課題は人材不足、人が物理的に足りないのでは。気持ちはあっても物理的に動けない地域もある。市で積極的
に人材支援をするべきでは。

答 太田市長

地域から動きがないところで市がつくることもできない。つくっても利用がないと思う。自立できる地域を自分たちでつくっていく、一緒になって知恵を出す、それがない地域はこの人口減少の中で減びると思う。それは仕方がない。

答 金谷生活環境部長

地域の担い手とか活力が、自然と地元から起きてくることがない部分もある。これから地域に入り、課題や実態を十分把握し、どういう形がいいのか検討していく。どういう人材が要るのかも見極めていきたい。

問

久世公民館移転の 課題

仮移転先は規模が小さく調理室もない。利用団体や市民活動への影響、課題、今後は、生涯学習基本計画の改定、社会教育の可能性と充実について伺う。

答 三ツ教育長

旧久世校地へ仮移転した久世公民館
社会教育の基本は学びを止めないということと、市民活動の継続と発展を可能な限り最優
先に、エスパスセンターや久世図書館との連携も視野に入れる。生涯学習基本計画の策定、対話と協働を通じた共につくる社会教育の場に位置づけ、取り組む。



問

成人歯科検診制度が必要ではないか



①歯周病は成人の8割が罹患・予備軍とされる。歯を失うだけでなく、糖尿病、心筋梗塞、脳梗塞、認知症との関連があるとされる。厚労省は「歯周疾患検診の実施」を定め、20歳から70歳の者を10歳ごとに検査・指導するよう示している。以下の理由

で、真庭市も成人の歯科検診を実施すべきと考える。歯疾患の早期発見・治療による健康寿命の延伸。糖尿病、心血管疾患、認知症等の予防。早期治療につながる。医療費の削減効果があり、国保税の引き下げにもつながる。
②検診制度は医療費を下げる手段の一つである。



小学校で歯の保健指導

答 太田市長

①歯と口腔の健康の重要性は認識している。成人についても歯、口腔のケアは大事だ。法律は努力義務で、財源問題が十分検討されていない。今、真庭市の国保会計、それから後期高齢者保険が大変なことになっており、そこに手を入れていく。そこが優先順位が高い。
②個人の自覚で一定のこ

とはできる。真庭市の今の財政状況からして制度化はしんどい。

問

5,000ポイントは 全市民へ

地域通貨活用物価高騰対策事業(まにこいんキャンペーン)について。市の人口約4万人で、アプリを入れている人は2月末で約3万人。経済的な理由やスマホを持ちたくない人、従来型の携帯電話の人、高齢で利用していない人など、約1万人には5,000ポイントは届かない。最も必要としている人に届かない可能性もある。はなはだしく不公平であり、市に対する市民の信頼感の問題だ。個別の書類申請などで、残りすべての人に届くようにすべき。

答 太田市長

別の方法だと大変な事務が生じる。

答 木村総合政策部長

重層的にいろんな事業を重ね合わせて、カバーしていると考えている。

田島 吉章



旅先納税の戦略的PRと財源の確保

人口減少が進行し、市税

収入の伸びが期待できない今、市民負担の引き上げに依拠するのではなく、外部から財源を呼び込む仕組みの強化が不可欠である。その中で、自治体の創意工夫により、伸ばし得る数少ない自主財源がふるさと納税である。

本市のふるさと納税額は約4億円規模にとどまり、拡大の余地がある。所管を産業観光部へ移管する方針は、財源確保と産業振興を一体的に進める戦略的転換として評価する。中でも、まにあぶり・まにこいんを活用した旅先納税は、観光誘客との親和性が高く、税の支払いを旅費に転換する「トリップバック」とも言える有望な仕組みである。宿泊を主たる活用先とすれば滞在型観光の促進や需要喚起にもつながり、返礼品の配送コスト等も発生しないため、来訪者・

自治体・事業者の三方よしを実現し得る。一方で制度が分りにくいという課題もあり、ユースケースや料金シミュレーションを示した提案型の戦略的PRが必要と考える。こうした戦略的PRを行う考えはあるか。



あなたの想いを、真庭の未来へ。 まにこいん専用HPより

答 太田市長

旅先納税は、返礼品の配送を伴わず実質的な収入割合を高める効率的な税外収入確保策であり、重要な取り組みである。まにあぶりによる利便性を生かし、市全域で利用できるよう店舗拡充を進めている。今後は旅行クーポンや体験型返礼品を組み合わせ、真庭の魅力を分かりやすく

発信することで利用拡大を図る。滞在型観光の促進策として位置づけ、観光振興と財源確保、地域振興につなげていく。

答 木村総合政策部長

本市のふるさと納税は将来的に10億円規模を目指す。天候に左右されない体験型コンテンツの開発を進め、事業者と連携した商品開発へ一歩踏み込む。産業観光部を中心に観光局や関係主体と連携し、旅先納税を軸とした新たな価値創出に取り組む。

庄司 史郎



大阪万博のCLTを何に使う考えか

CLTをもらうということは何か建築物を造るということとであり、払い下げを受ける前に利用する構想の中身を明らかにし、払い下げに係る経費は幾ら幾らという説明が、万博が終了した今、必要であると考える。万博CLT利活用についての考えを伺う。

答 太田市長

CLT、一企業の宣伝でも何でも無い。真庭の木材需要を増やしていくときに、柱については展望がない。やはり板だど。どうしていくのかというときに一つの大きな方向性だと思っている。法外なお金を使ってまでということではない。木材振興をどうするか。そういう考え方でやるべきだと思っている。



中学校部活動の地域展開の環境整備

学校通学より遠くなる子どもたちの中には、地域クラブへの参加を諦める者も出てくるのではないかと。また、クラブ参加費負担が必要になることから、保護者の経済的理由により参加を断念する者も出てくるのではないかと懸念する。どこに住んでいても希望するクラブに参加できる機会が平等に与えられる環境をつくるのが求められると思うが、どう考えているか。

答 太田市長

市が認定したクラブ活動団体に補助金を交付することで、参加費を可能な限り安く抑えることにして、経済的理由が参加の妨げにならないように、生活困窮世帯に対しては参加費の補助制度をつくるようにしていく。

答 三ツ教育長

また、学区外への移動の際には、まにわくんの幹線ルートは無償で利用できるような準備もしている。

子どもたちのやりたい、挑戦したい、そういう思いを大事にしながら、それが応援される地域社会を学校、家庭、地域と共につくっていくことだと考えている。



落合総合公園テニスコート

柴田 正志

問



湯原温泉病院の経営

厳しい経営の中で令和7年度以降はありとあらゆる収益改善策が計画されている。その中でも令和7年8月に地域包括医療病棟への転換による診療加算が大きな意味を持つと思っている。

令和7年度の地域包括病床の入院単価は36,876円と上昇し、療育病棟の倍以上となる。計算上は1日当たりの入院患者が1人増えると年間1,300万円以上



充実したリハビリ環境の湯原温泉病院

の収益増が見込まれることになる。本業の医業収益で赤字を埋める具体策として市内の患者の受け入れに加え、県南の大病院で手術後の在宅復帰を目指すリハビリ患者受け入れといった連携を推進すべきと考える。

答 西本病院事務部長

現在医療連携の認定を受けている県内の大病院は津山中央病院と岡山大学病院。令和8年度は県内の病院と医療サービスの連携を図るため渉外担当職員を1名増員し、管理職職員と共に営業活動をすることになっている。

問

命を守る公共交通

真庭市の人工透析患者は現在172名。透析は週3回、1回4〜5時間という拘束時間のある長い治療である。高齢になるほど発症率が増加する中で、現在は自家用車を運転して通院できている方も運転できなくなったらどうなるのか、将来に強い不安を抱えている方がいる。周辺地域から人工透析ができる病院まで

は片道50分以上かかるところもある。透析患者の移動支援は単なる交通施策としてではなく命を守る施策と考えるが市長の認識を伺う。

答 太田市長

湯原温泉病院で透析ができないか検討もしたが実現が難しい。交通機関の弱いところはできる限り充実に向けて頑張っていく。民間の介護付き福祉移送サービスの利用者負担の軽減に向けて関係者の意見も聞きながら検討を進めていく。

村上 善彦

問



北町公園整備

まにわの未来を拓く公共施設整備方針(案)によると、北町公園整備は、令和8年度・9年度を調整期間、令和10年度を設計、11年度を建設、12年度を運用開始というスケジュール案が示された。調整期間では、その過程を市民に公開する必要があると思うが、見解を伺う。ま

北町公園 久世



た、令和5年9月に策定された北町公園基本構想・計画は継続されているのか、併せて伺う。

答 太田市長

令和5年に策定された真庭市北町基本構想・計画の方針は変わらない。検討状況は、関係各部署で構成する庁内会議で原案を作り、有識者や市内の関係団体で構成する「まにわの未来を拓く公共施設の在り方検討会議」の中で議論を進めていく。建物を含めた具体的な設備等については、設計の段階で住民、利用団体の意見を参考にしながら進めていく。

問

生活支援

まにわの市民生活に著実に浸透し、市民の生活支援と市内での経済循環に寄与している。一方、ユーザー以外の人々には、同様な恩恵を受けられないという不公平感もある。今後、生活支援をする場合、ユーザー以外の人には現金給付等を検討する考えがあるか、見解を伺う。

答 太田市長

国の交付金事業でやっていることで、重層的な支援をすることとした。2万人くらいがマイナンバーとひもづけされていない状況で、ユーザー以外を探するのは不可能だ。個人給付という形が、行政とは何かと考えた場合、もっと優先順位の高いものがあることを忘れてしまうのではないかと考える。個人給付しないとは言わないが、もっと知恵を絞らなければならないと思う。

緒形 尚



観光政策検証と入湯税の戦略的活用

観光戦略の策定、滞在型観光の推進、真庭版DMO体制の整備など、観光振興に向けた取り組みを着実に進めてきたが、ここで政策判断を改めて検証すべき段階に入っていると考える。入り込み客数を優先するという政策判断について、現時点でどのように評価し、総括をしているか。

また、観光地間の競争は質の面で一段と高度化し、温泉地としての魅力向上が求められる。これからは単に客数を追う時代ではなく、滞在価値を高め、体験の質を向上させ、地域資源を磨き上げること、選ばれる温泉地となることが求められている。そのためには、持続的な自主財源の確保が不可欠である。入湯税の超過税率導入について、改めて具体的な検討を行うべき段階に來ていると考えるが市長に伺う。



温泉街を南から望む 湯原温泉

答 太田市長

入り込み客の底上げを図って、併せて宿泊客の増加を促進することで、観光消費の拡大につなげていくことを念頭に置いていた。そういうことも踏まえて、入り込み客だけを指標とするのではなく、日帰り宿泊、それぞれの満足度、それから1人当たりの観光消費額、これは日帰りと宿泊とは全然違う。さらにリピーター率など、多様な手法を総合的に伸ばすことが大切だと思っている。観光局において、KPIを設定して現在の観光の動向に合う取り組みをしている。

入湯税の超過課税の導入等に関しては、検討をしてい

こうと考えている。

日帰りの入浴客への課税はしていないが、本来は課税すべきと考えている。入湯税は非常に大事な、真庭市にとって貴重な財源である。

宿泊税については、これはかなり厳しいと考える。検討はするが、今すぐの導入は少しんどうと思っっている。

小田 康文



新たな市からの財政支援は行わない

株式会社アストピア蒜山は、真庭市が出資する第三セクターで、市の出資比率は99.8%、出資金額は6,255万円であり、とても公共性と効率性の両立を目的として官民が共同出資したものとは言えず、市の執行機関の一部といっても差し支え



赤字続きで4月から閉鎖される、ホテル蒜山ヒルズ

業活動を継続していることが不思議でない。

答 太田市長

真庭の市長として出資者として非常に重く受け止めている。抜本的というか、もう解体的なことまでやらないと、この旧八束の施設、津黒高原も含めて全体を見直さなければどうしようもない。もう倒産の寸前という状態である。

急激な経営悪化を受けたアストピア蒜山の経営改革では、主たる要因であるベーカーリー事業を関連債務とともに譲渡し、不採算部門のホテル蒜山ヒルズを閉鎖する。

答 伊藤副市長

アストピア蒜山の経営改革においては、新たな市からの財政支援は行わないことを前提に進める。

今後、指定管理者制度を導入している施設、第三セクターについて一斉の点検を実施し、その状況について議会に報告する。

昨年9月に令和6年度の決算が公表されたが、純資産がマイナス1,764万円の債務超過であり、資産を全て売却しても負債を返済できない状態にある。利益剰余金は3期連続で減少し、令和6年度末にはマイナス8,026万円に達しており、累積損失が著しく拡大している。

また有利子負債が令和5年度の1,809万円から1億1,337万円へ約6.3倍に急増している。

既に倒産状態にある第三セクターが令和7年度も営

葉廣 峰久



御意見箱の設置

市民の声がより実感を持って市政に反映される御意見箱があればよいのではという意見を耳にする機会が増えている。真庭市では、市政への提案として、改善要望や提案、感想等をホームページ内専用フォームにより受け付けており、苦情から建設的な提案まで幅広く対応できる。

しかし、ホームページ上のごとにあるのか分かりづらい、子どもや高齢世代にとっては利用のハードルが高いという課題もあると市民の声としてある。そこで、まにあぶり匿名で利用できる御意見



まにわの未来をみんなで考える

箱機能を実装できないか。そして、各支局に常設の物理的な御意見箱を設置し、全世代の意見を受け取る仕組み、寄せられた意見とそれに対する市の対応を見える化する取り組みを併せて行うことを提案する。市民の一人一人の声をより身近に、より確実に市政へつなげる仕組みとして、デジタルとアナログの両輪による市民参加、広聴機能の強化が重要であると考えるが、市長の見解を伺う。

答 太田市長

頭には提案を置きながらも、今の時点ではフェイス・ブック・フェースを充実して行っていききたいと思う。

答 木村総合政策部長

こどもの権利条例、これを策定していく中で、やはり子どもの声をどんな形で吸い上げ、取り入れていくかしっかりと議論をして、子どもの意見を聞く仕組みを作っていくことも検討していきたい。まにあぶりについては、間もなくだが、市民のディスカッション機能を搭載する予定である。市民の皆さんとアプリ上で議論をするというような、一歩先を行くものを搭載する予定である。

谷本 彰良



通信環境の発達には敏感であるべき

国は全国どこでも光回線等を利用可能とする「ブロードバンドユニバーサルサービス制度」を開始した。本市は公設民営方式の「真庭ひかりネットワーク」により高品質な通信環境を提供しているが、本制度導入による市民の利用料金や通信速度への影

響はどうか。また、将来的な設備の高度化や維持管理コストの軽減に寄与する見込みはあるか。

近隣自治体では民設民営による10ギガサービスの提供が始まっている。テレワーク推進や企業誘致において通信速度は重要だが、今後の展開を問う。



ネットの高速化で「場所の制約から解放された田舎暮らし」 (生成AIで作成)

答 太田市長

通信環境の発達は企業誘致や市民サービスに影響するため、敏感であるべきと考え

る。本制度は、過疎地等の不採算地域でのサービス維持を事業者間で支え合う仕組みである。月額利用料への影響については、各事業者が回線に応じた費用を利用者から徴収することになっており、2025年度末頃から一契約あたり月額2.2円(税込)が加算される見通しである。

本市は公設民営方式であり、本制度の交付金活用主体ではない。現在は約10.9億円の情報化基金により、現行方式での維持管理が可能である。

将来、10ギガが必要となれば、民設民営への移行も含め、検討する可能性がある。当面は現行体制を維持しつつ、状況を注視していく。

答 木村総合政策部長

現在、市内企業等から速度に関する苦情はない。新見市の民設民営移行は、既存の通信速度が低速だった背景がある。

本制度を利用した民設民営移行には10ギガ整備が条件となる。現在は岡山市等の一部地域に限られているが、真庭市としても必要性を見極め、検討していく。

苦田 智子

問



**安全、安心に遊べる
室内の遊び場を**

①まにわの未来を拓く公共施設整備方針(案)や想定スケジュール案が示された。久世地域にある北町公園、公民館、保健福祉会館、エスパス・旧遷喬小学校、旧久世校地の4拠点である。この4拠点の中に、子ども達が自由に、安全に安心して遊ぶことができる室内の遊び場を設置する考えはあるか。

②振興局単位での設置をどう考えているか。

答 太田市長

①子どもが天候に左右されずに、自由に、そして安全・安心に遊べる場を確保するということは、こどもまんなかのまちづくりをしていくうえで大切なことだと考えている。

令和8年度は、猛暑日に市内を巡回する屋内型の遊び場に加えて、既存施設を活用した子どもの居場所の通年



猛暑日に市内を巡回する屋内型の遊び場 本庁舎4階

開放、この2つを進めていく。保育所、こども園、土日、祝日、閉鎖した時に遊べる場所の整備、提供もする予定である。4拠点についても、単に遊び場と言うだけではなく、真庭ならではの付加価値をもったこどもまんなかにして、人と人がつながる地域共生の拠点という考えで具体化に向けて進めていく。

答 樋口健康福祉部長

②令和8年度、市内の公共施設の中で、少し小さいスペースではあるが、常設で遊

んだり、中学生・高校生が学習したり、汽車待ちの時間を

つぶせるような場所の提供を予定している。北房庁舎の2階、落合総合センター、久世エスパスの中にスペースの確保を予定。勝山については、文化センターは既に進めているが、勝山保健福祉センターの中でスペースの活用、美甘振興局は庁舎の2階、湯原振興局では、ふれあいセンターに交流スペース、蒜山振興局でもスペースを準備して、できるだけのエリアでカバーできるように予定をしている。

奥 侑樹

問



先ず隗より始めよ

若年女性流出を、個人の問題ではなく、根強い固定的性別役割分業意識や男性中心主義的・社会規範といった構造的な問題に起因すると認識しているか。

答 太田市長

女性の自己効力感の低さ、キャリア形成への期待感の低



ジェンダーギャップの図 (生成AIで作成)

教員の労働時間は子どもの学習環境である。①本市で教員は労働基準法第34条に定める休憩を取れているか。休憩時間は労働から完全に解放されたものとなっているか。②教員の労働環境は労働基準法に違反していないか。③教員の勤務時間外活動は、文部科学省が言うように教員が勝手にやっている自主的、自発的な活動か。

答 三ツ教育長

教員がわくわくして働いている姿は、子どもにとって身近なロールモデルであり、安心の土台だと考えている。①努力はしているが、労働から完全に解放された時間として常に確保するのは、現状困難であるのが実態。②教員は職務の特性上、完全に職務から離脱するのが難しい場面が多い仕事である。構造的な背景があると認識している。完全に休憩が担保できているかというと、担保できていないというふうに考えている。③教員として必要な仕事であり、研修は職務であると

問

教員の休憩時間

考えている。

伊藤 義則

問



アストピア債務超過と指定管理制度

令和6年9月の一般質問で、このままでは債務超過になると言ったが、残念ながらそうだった。その時に予実管理が出来ていないように感じたので、それを問うと、管理会計の仕組みがどの会社にあるか把握していないとの答弁だった。今回の問題は、行政のガバナンスの問題と指定管理者制度の制度疲労の問題が含まれていると思う。

答 太田市長

一言で言うところ、真庭市のガバナンス上も問題があった。市は、令和6年度の決算報告を受けた後、月単位で経営陣と協議を重ねた。顕著な効果が上がらないため、蒜山ヒルズの閉鎖等抜本的な改革を行わざるを得ないと判断した。指定管理者制度は、今持っている施設をどういうふうにするのか、原点に立ち返って抜本的な見直しを進める。

問

北房地区のまにこいん加盟店増加策



まにこいん

まにこいんは、真庭市民を中心に今は32,000人が利用し、約270の加盟店がある。今回5,000ポイントの付与を北房地区でアピールしたが、北房地区の加盟店が10店舗しかない。なぜ加盟しないかに対して、北房にトマト銀行がないとの回答が多くあった。

答 太田市長

トマト銀行の口座をつくるのが進んでいない。現在、中国銀行の取り扱いについての協議や仕組みについて、調整を始めている。

問



加藤 大悟

予算の適切、有効な効率化計画を

①まにこいんで全ての行政手数料の決済。②公共施設周辺をシートやコンクリート等で防草施工し、長期的な管理費の削減。③コミュニティバスまにわくんの固定ルートを見直しデマンド型交通で市民の利便性を高める検討。④業績不振の指定



コミュニティバスまにわくん

管理施設についてサウンディング調査を行い、存続か廃止か検討。

答 太田市長

①本庁舎、各振興局の窓口で住民票や印鑑証明などが決済可能となっている。②防草シート、コンクリート舗装による対応についても必要なところはする。一部駄目になり、そこをまた補修すると、かえって高くなる、それからコンクリートを一面すると景観上の問題もある。限られた財源の中で効率的、適切にやっていくことになる。③移動をする、その自由をどれだけ大きくするかということ、この広域な真庭で苦慮するが、

問

配置基準を満たし児童の安全を保つ

真庭市放課後児童クラブの現状と課題について、最も深刻な問題は、資格保有者の確保である。短時間パートに頼らざるを得ない構造的な問題がある。

AIの活用も含め、多面的なアクションが重要と考える。

答 太田市長

放課後児童クラブについては重視して、できる限りのことをする。支援員の確保で、大変苦慮している。AIが使えるところは使い企業と連携する。

GIKAI NO UGOKI

議会 の動き

12月・1月・2月

総務常任委員会視察意見交換会

1月16日、加古川市と佐用町へ行政視察を行いました。加古川市では市民参加型合意形成プラットフォームについて、佐用町では縮充のまちづくりについて学びました。1月19日に地域おこし協力隊と、26日には、(一社)真庭青年会議所と意見交換会を行いました。行政視察、意見交換会共に真庭市が直面している課題が浮き彫りになりました。行政と民間がお互いに協力し、元気な真庭を目指せるよう、今後も意見交換を進めて参ります。

文教厚生常任委員会視察意見交換会

12月19日、真庭市発達発育センター及びマルコポーロ(放課後等サービス)、23日に久世中学校、24日には遷喬小学校で通級について視察と意見交換会をしました。通級とは、通級指導教室のことです。通常学級に在籍しながら軽度な障害のある児童が、一部の時間だけ別の教室に移動してそれぞれの課題に合わせた特別な指導を受けています。教室内を見せていただき「一人一人の子どもの成長に合わせた切れ目のない支援」の大切さを学びました。

産業建設常任委員会視察意見交換会

1月20日、真庭市役所4階委員会室で、六ヶ土地改良区、玄澤土地改良区、黒尾土地改良区、目木土地改良区の役員の皆さんと「土地改良区の現状と課題」をテーマに意見交換会を行いました。

2月12日、真庭市役所4階委員会室で、おかやま酪農協同組合と蒜山酪農協同組合の役員の皆さんと「酪農関係の現状と課題」をテーマに意見交換会を行いました。

議員の政治倫理について研修

2月20日に広島大学法科大学院教授の新井誠氏を招き研修会を行いました。政治倫理条例の法的性格と積極的意義とは、自らを律すること、住民に対する情報公開と信頼関係の構築をすること。議員は全市の代表として各地区が公平に発展していくことを目指さなければならない。特定の地域や企業を優遇するものではない。主観的かつ客観的に政治倫理をみなくてはならない。自ら自浄作用を働かせ健全な民主主義のシステム循環を作っていくことを研修しました。



研修の様子 本庁舎4階委員会室

ICT化推進部会視察

1月29、30日に宮崎市と日向市へ行政視察を行いました。宮崎市ではAI議長ラジオや一般質問30秒動画、ヒートマップでの可視化等、デジタルで開かれた議会を目指す取り組みを学びました。日向市では、行政データを学習した独自の生成AIを視察しました。業務を大幅に効率化し、その余力を市民サービス向上に繋げる官民連携の取り組みを確認しました。

真庭市議会でも、AI等を用いた議会運営の効率化と、市民との関係を構築する仕組みづくりを、小さな工夫から実践します。



視察の様子 宮崎市

市民の広場

SHIMIN NO HIROBA

ここは市民みんなで作るページです
楽しい気持ちで ご参加ください



無人の美術館
真庭高校 佐藤仁衣奈



2匹の子猫
勝山高校 西本桃菜

募集

絵画、イラスト、書、写真などを募集しています。住所、氏名、電話番号を書いてください。ペンネームを希望される場合も連絡先と氏名が書いてあることが必要です。声は氏名を載せることにしています。
応募先▶真庭市議会 宛先:20ページの帯欄に記載。



▶チャンドラーの小説より 真庭高校 玉岡里彩 岡崎来望

9月定例会の請願・陳情は7月31日(金)まで

9月定例会の請願と陳情の受付は7月31日(金)までです。様式などの問い合わせは議会事務局までお願いします。ただし、土日祝日等の市役所の閉庁日は除きます。市政などについての意見や要望があるときは、誰でも請願や陳情を議会に提出することができます。請願は、議員の紹介を必要とするのに対し、陳情の場合は議員の紹介は必要ありません。

ホームページをご覧ください



ホームページ



フェイスブック

6月定例会は

5月29日(金)から6月16日(火)

- 5月29日(金) 本会議 開会・議案上程、提案説明
 - 6月3日(水) 本会議 (一般質問)
 - 4日(木) 本会議 (一般質問)
 - 5日(金) 本会議 (一般質問・議案質疑)
 - 8日(月) 9日(火) 10日(水) 常任委員会
 - 11日(木) 予算審査特別委員会
 - 16日(火) 本会議(委員長報告・採決・閉会)
- 会議は通常午前9時30分に開会します。
 ■ 正式には5月21日(木)の議会運営委員会で決定します。

問題

3月定例会の一般質問は

〇〇人



フリーズドライのまいたけご飯

正 解者の中から10人に「フリーズドライ工房まにわ」が当たります。はがきに答えとあなたの住所・氏名を本ページ左欄に記載している真庭市議会までお送りください。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。締切..5月31日(日)消印有効。前号の応募総数は64通で、正解者は62人でした。ご応募ありがとうございました。

新米議員奮闘記

「市民の声を直接市政に届けたい」との思いで議員になり、一年が過ぎました。

無我夢中の「もう一年」いやいやようやく一步の「まだ一年」だと思っこの頃です。

先輩や同僚議員の皆様の力をお借りしながら毎日が勉強の日々。

議員生活は驚きの連続です。

前日に配信される数百枚分もの膨大な資料。今ではその多さにも慣れ、深夜から明け方で資料と格闘する日々ですが、今更ながら、市民の皆様の大切な税金の使い道や思いを預かる責任の重さを痛感せずにはいられません。

3月8日、吹き付ける強風の中、消防団久世方面隊の総合訓練大会に出席致しました。

私達の安全、安心を、日々守ってくださる消防団員の皆様のお姿にはまさに頭の下がる思いです。

こうした皆様お一人おひとりの力が真庭の今を支えてくださっているのだと改めて実感致しました。

これまで「まにこいん」や「室内の遊び場」について、2回の一般質問を行い、その両方もが翌日の山陽新聞に掲載されたことは私の大きな励みとなりました。

これからも、市民目線で市政へ届けてまいります。(文責 苦田)



真庭いきいきテレビをご視聴下さい

真庭市議会定例会は真庭いきいきテレビ「MIT」のサブチャンネル(122)で生中継しています。

一般質問や各常任委員会付託案件審査は、録画して後日放送しています。

GIKAIHEADLINEは、真庭いきいきテレビYouTubeチャンネルで定例会閉会2週間後から2週間視聴できます。